

平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-2

局・課名： 中区役所生活援護課

事業名	生活保護適正化(中区)	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
			27,014	31,118	29,373	
【目的】 生活保護の適正化の推進を図るため、体制強化や給付のためのシステム整備、医療扶助の支給に関する点検等の充実に努めることにより適切な運営を行い、最後のセーフティネットとして市民の信頼を得ることを目的とする。 【内容】 <診療報酬明細書等点検充実事業>レセプト点検を専門業者に委託し、点検の強化を図る。また、有資格者を施術点検員として雇用し、内容点検等に從事させることで医療扶助の適正化を図る。 <体制整備事業>生活保護面接相談員を雇用し、専門的な面接相談業務に從事させることで、真に保護を要する者が適切に保護を受けることができる体制を整備する。 <収入資産・扶養義務調査等充実事業>専門の調査員を雇用し、被保護者の年金・手当等の受給権の調査や扶養義務者への援助依頼等に從事させることで生活保護の適正化を図る。 【今年度要求のポイント】 生活保護の適正化の推進を図るために必要な人件費、事務経費を予算要求する。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		H ~ H				
	主要要求内容		(単位:千円)			
	項目	30年度予算	31年度要求額	内容・積算等		
	人件費	19,294	17,159	報酬、賃金		
	旅費	865	795	費用弁償(通勤費)、普通旅費		
	需用費	1,278	1,150	消耗品費、修繕料		
	役務費	6,428	6,561	通信運搬費		
	委託料	3,253	3,253	区役所人材派遣委託料		
	使用料及び賃借料	0	1	公用車駐車料金		
備品購入費	0	454	事務用備品購入費			
	合計	31,118	29,373			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～30年度)】 H23 面接相談員の拡充(7名増) H24 医療扶助相談・指導員配置 H29 居住生活サポート事業実施		【31年度】 事業の継続実施		【今後予定(32年度～)】 事業の随時見直し・継続実施		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業 生活保護適正化(各区)						